



松山市議会議員 吉富健一の政務活動報告 よしとみマン通信

第13号
2015.12月発行
(発行者)吉富健一

道後アート2015が好評!!



【道後オンセナート2014】に続く、道後を舞台にしたアートの祭典【道後アート2015】。

今回は蜷川実花さんをメインアーティストに、3弾にわたって展開されています。平成27年5月1日から平成28年2月29日まで。

開幕初日の5月1日。よしとみは早速、取材に伺いました。たくさんの人だかりで、すでに大盛況の気配。

よしとみはアートを通じたまちづくり、「まち全体がアートになる、アートの祭典」を一貫して提唱、応援しています。

松山市平成26年9月定例会でも、文化芸術振興などについて一般質問していました。



1. 道後温泉の活性化について

(1) 「道後オンセナート2014」の波及効果などについて

- ① 道後オンセナートの波及効果、特に地域経済への波及効果はどうか。
- ② 今後の方向性、特に、ご当地アーティストの表現の場としてはどのようにしていくのか。
- ③ 今後の開催周期はどのようにしていくのか。

(2) 「見せる」道後温泉本館修復工事について

- ① 「見せる修復」については具体的にどう考えるか。
- (3) 「参加する」道後温泉本館修復工事について
 - ① 道後温泉本館修復に当たっては、市民参加型の「参加する修復」としてはどうか。

2. 文化芸術振興に関して

(1) アートの拠点の創設について

- ① アートの拠点「アーツセンターまっちゃま」を創設してはどうか。 (平成26年9月一般質問)

<よしとみが視察した文化芸術先進地>

平成23年9月26日	「中之条ビエンナーレ」視察
平成25年2月9日	アール・ブリュット展「ART BLUT ART BLUT」を視察(大津市)
平成25年11月10日	「京都芸術センター」視察



認知症サポーターの普及に尽力!!

毎年 2,000 人以上が養成講座を受講。サポーター数は 18,022 人に!

<認知症サポーター養成講座受講者数>

年度	講座回数(回)	受講者数(人)
平成 21 年	58	1,819
平成 22 年	84	2,191
平成 23 年	72	2,575
平成 24 年	68	2,579
平成 25 年	61	2,086
平成 26 年	78	2,340
平成 18 年 からの累計	506	18,022

2025 年、その時よしとみは 55 才。「団塊の世代」の先輩方が後期高齢者となり、75 才以上の高齢者は 2000 万人を超えると見込まれています。

「認知症サポーター100万人キャラバン」は、認知症の人と家族への応援者である認知症サポーターを全国で 100 万人養成し、認知症になっても安心して暮らせるまちを目指す取り組みで、平成 26 年 6 月には 500 万人を突破しました。

平成 27 年 7 月の夜。よしとみは認知症サポーター養成講座を開催。

介護の資格がなくても、福祉の資格がなくても、認知症の特徴を学び、一市民として、まちでさりげなく見守り支える認知症サポーター。この日、受講の証＝オレンジリングを腕に着けた 80 人の市民サポーターが新たに誕生しました。

ご講義くださいました地域包括支援センター小野・久米地区には大変お世話になりました。また、雨の中をご参集下さいました市民の皆様、大変にありがとうございました。

よしとみは議会質問なども通じて、認知症サポーターの養成・普及や、見守りのネットワークづくりを推進。いっそうの取り組みを求めています。

□ 認知症サポーター・オレンジリングの普及状況、今後の取り組みについて問う。

□ 地域における「助け合い」を後押しする市政の取り組みについて問う。

(以上、平成 22 年 6 月一般質問)

□ 本市における認知症サポーターやキャラバンメイトの養成、見守りのネットワークづくりはどうなっているか。

また、今後の取り組みはどうするのか。

(平成 26 年 9 月一般質問)




吉富健一
連絡先

吉富健一
HP & ブログ

よしとみマン日記

検索

<http://www.komei.or.jp/km/matsuyama-yoshitomi-kenichi/>

ひとことメッセージ 

今回の「よしとみマン通信」は私がお届けしました。

□ 吉富健一(本人) □ 協力者()